

扱 い	テレビ・ラジオ 新聞 制限なし
解 禁	無し

記者発表資料

平成23年2月18日

「ヤギ・羊による砂防指定地の除草勉強会」について

国土交通省雲仙復興事務所では、噴火災害後の土砂災害を防止し、安全で水と緑豊かな地域づくりを目指し、平成5年から水無川、中尾川、湯江川の各流域において砂防事業を実施しています。

地域の安全を確保し、砂防事業を展開する砂防指定地の有効活用を図る観点から、地域の皆様から意見をいただき、雲仙普賢岳砂防指定地利活用構想（平成9年5月）を取りまとめました。

この構想に基づき、砂防指定地を地域住民の皆様にも有効活用していただける方策として、島原農業高校の山田善光先生にご指導・ご協力を頂きながら、平成22年11月7日より水無川導流堤内でヤギ・羊を試験的に放牧し、その除草・ふれあい活動の場としての効果を検証して参りました。

この度、その検証結果（中間報告）を整理いたしましたので第1回勉強会を開催することといたしました。

勉強会は、このプロジェクトに関わる産学官からの代表者で構成し、小動物による除草効果、除草コスト縮減の可否、小動物を利用したふれあい活動の場の形成の可能性について検討することとしています。又、環境にやさしく、地域振興に寄与する新しい公共事業のモデルとなる「里山砂防」の方向性についても議論できればと考えております。

1 日 時 平成23年2月22日（火） 13時30分～15:30分
 2 場 所 雲仙復興事務所 3階会議室
 3 委員 13名
 4 勉強会内容
 ①勉強会目的 ②勉強会をとりまく各機関の取り組み
 ③H21年度H22年度の取り組み結果（中間報告）
 ④小動物を利用した利活用

※水無川導流堤内は「雲仙普賢岳砂防指定地利活用構想」の中で平常時に野外スポーツや体験農園として利用するゾーンとして位置づけられています。

発表記者クラブ
・島原記者クラブ

問い合わせ先
国土交通省 九州地方整備局 雲仙復興事務所
（0957）64-4171（代表）
調査品質・確保課長 前田 昭浩（内351）